



依存症シンポジウムを開催しました



3月2日(土)、横浜ランドマークタワーにて「依存症シンポジウム」を開催し、定員を超える200名以上の方にお越しいただきました。また、依存症の治療及び支援の分野でご活躍されている方々を講師にお招きし、県民、医療関係者などに向けてご講演いただきました。

総合センター長の垣渕洋一先生からは「QOL（人生の質）を高める依存症支援について」をテーマに、依存症治療の観点からお話いただき、依存症になる背景や、支援成功のコツ、QOLの向上の仕方などをご講演いただきました。

成増厚生病院東京アルコール医療



垣渕洋一先生



城間勇先生

RDP横浜施設長の城間勇先生からは「私が体験した依存症からの回復と擁護について」をテーマに、自身の依存症からの回復体験、アメリカの回復擁護運動に参加した経験などについてご講演いただき、最後に依存症の方へ向けた歌を披露していただきました。

パネルディスカッションでは上記講師2名に加え、当センター依存症診療科の小林医療局長の3名で会場からの質問にお答えするなど、依存症について広く知っていただく機会となりました。

Contents

- 依存症シンポジウムを開催しました
- 部署紹介リレー
 - ・看護局
(看護教育科、病棟技能員・看護補助者)
 - ・栄養管理科
- 平成30年度関係機関向け病院見学会終了しました
- 掲示板他

看護局

看護教育科

看護教育科は1単位として独立し、教育担当副看護局長が看護教育科の科長を兼務し、3名で構成しています。

主な活動は、看護職員に対する現任教育や看護研究指導、看護学生の実習調整や指導、他施設からの研修・見学の調整や支援、又、看護局内会議に参加し会議活動の支援を行っています。

看護職員一人ひとりがキャリアステップ過程を進んでいくため、各セクションと協働し、センターとしての目標を達成できるよう、様々なことにチャレンジしていくことを目標にしています。



看護教育科の教育方針

- ①看護職員一人ひとりの「意思(思い)と意志(こころざし)」を重んじ、「個性と役割」を見出せるよう支援します。
- ②共に学び、共に楽しみ、共に深化する看護教育科を目指します。

病棟技能員・看護補助者

私たち、病棟技能員・看護補助者12名は看護チームの一員として外来や病棟に配属され、患者さんが安心して安全な入院生活を送れるように看護師との連携、情報交換を大切にしています。



主な業務内容は、患者さんの生活環境に関わる病室の清掃・整頓やベッドメイキング、診療材料の管理・整理、医療機器・器具の点検や片付けもします。

他に、日常生活に関わる排泄の補助業務や入浴の準備や介助、食事の配下膳も行います。

患者さんの話し相手になる事や散歩の付き添いに行くこともあります。

担当病棟以外でも協力できる体制が整っており、患者さんにとって最善な治療を受けられるための準備や環境づくりを心がけて日々の業務を行っています。

栄養管理科

栄養管理科は、管理栄養士4名、調理職17名、事務職1名、盛り付け非常勤職員13名の35名が力をあわせて美味しくて癒やされる給食提供を目指しています。下膳・食器洗浄業務では、委託職員12名が食器の衛生管理をしています。

当センターは精神科ということもあり患者さんの個性が高く、一律の給食対応ができません。“人”でなければできない細やかな業務がほとんどです。病棟との連携によって多様な患者さんのご様子を共有しながら精神状態の波に寄り添う対応を心がけています。

スタッフは、県立病院や施設、民間病院などさまざまな病院や施設の勤務経験者が集結しています。各々のこれまでの経験を目の前の業務に活かすために話し合いをしながら試行錯誤を重ねております。

だんだんとベテラン職員の割合が増しており、職場は落ち着いた雰囲気である反面、持病や膝や腰の痛みを抱える職員もおります。給食提供は365日、全9病棟と平日はデイケア食のあわせて一食あたり約300食の提供を1日3回、朝7時、昼12時、夕18時の決まった時間に休むことなく確実に提供し続けることが私たちの使命です。そのために健康管理も仕事の一部として行いながらベストの状態の仕事に臨むことができるように協力しあっています。



食べることは生きること。私たちは陰ながらではありますが“患者さんのいのちのために”という気持ちで、心を持った“人”でなければできない仕事をしていきます。

患者さんに楽しんで頂けるようなイベントや新たなチャレンジを試みながら、患者さんからも職員の皆さんからも信頼して頂けるセクションとなるように科員一同、頑張っております。



本日の昼食は天ぷらの盛り合わせです。



揚げ物の時は少し忙しくなります(^0^;)。

平成30年度関係機関向け病院見学会終了しました

平成30年9月20日、『依存症』を皮切りに、『ストレスケア』『精神科救急』『思春期』『治療抵抗性統合失調症』『精神障害回復への援助』と、テーマ別に6回の病棟見学会及び講義を行いました。

総参加者数464名と、多くの方にご来院いただきました。皆様からいただきましたアンケートも参考に、今後も精神医療、精神科病院についてご理解いただけるよう努力して参ります。

お忙しい中ご参加いただきまして有難うございました。

掲 示 板

第3回 認知症シンポジウム「パーソン・センタード・ケア」

日 時：平成31年4月27日(土) 13:30~16:30

会 場：よこすか芸術劇場 ヨコスカ・ベイサイド・ポケット 小劇場
(5階入口 エレベーター直通)

行 事：12:25~13:25までの間、相談ブースを設け、ソーシャルワーカー、管理栄養士、看護師、臨床心理士が認知症に関わる日常の困りごと等のご相談に対応いたします。

講演開始前・休憩中に、コグニサイズ体験ブースを開催いたします。

当センターにて「シニアデイケア」がスタートしました！

3月1日から、毎週水曜日と金曜日の午後に実施しています。

コグニサイズをはじめ、懐かしい話(回想法)、懐メロ(歌唱)など仲間を作り、楽しみながら取り組んでいただけるプログラムを用意しています。

興味のある方や詳しい活動内容を知りたい方はデイ・ケア科までお気軽にお問い合わせください。

敷地内草刈り by 職員ボランティア



今日の一首

芹が谷の 小高い丘に それぞれの
冬生き抜いた 花咲き誇る

詠み人 はまぐら

